

授業での活用（実践報告例）

【 数 学 科 】

1) 使用ソフト名（価格）

- ・ iPad 用 … Kocri（月額 600 円）



2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数 / 授業時数)
本 2	普通科	数学	4 / 4
専 II	普通科	数学	2 / 4

3) 使用例および生徒の反応

Kocri は、タブレットやスマートフォンをリモコンみたいな感覚で操作し、プロジェクターを使って、動画や画像、PDF ファイルを黒板に一瞬で映すアプリである。色の反転機能を使って、黒板にチョークで書き込んだような、目に負担のかからない投影をすることもできる。

・ シーン切替

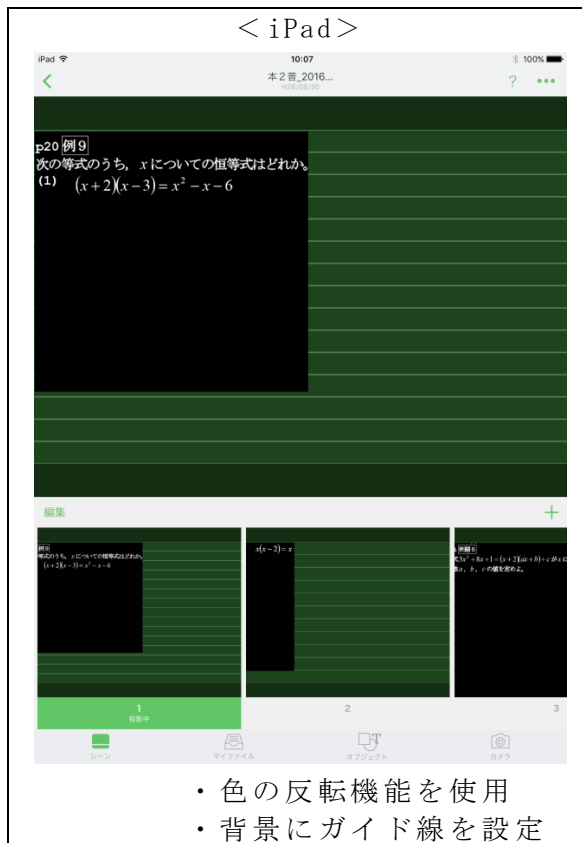
黒板に投影する動画や画像をスムーズに切り替えられ、大事なポイントの再投影、授業の振り返りのための再投影などがスムーズにできる。配布した授業用プリントとほとんど同じものを投影しているため、生徒は参照や再書き込みができる。

・ カメラ機能

教科書の練習問題や生徒の解答例などをカメラで撮影して黒板に一瞬で投影し、問題文の意味、生徒がよく陥りやすい誤答例などをチョークでスラスラと書ける。問題文や誤答例を黒板に書き込む手間が省かれ、生徒の待ち時間が発生しない。

・ ガイド機能

背景画像としてマス目などを映し出し、綺麗にチョークで書き込むことができる。マス目を映し出して、桁数の多い乗除算を綺麗に丁寧に書き込めることができる。また、ガイド線を映し出して、細長い式を綺麗にまっすぐに書きこめる。生徒には見やすく、何に注意すべきかわかる。



4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・黒板への問題文などの書き込みに要する時間を減らし、その分、解説や問題演習などの時間を増やすことができる。
- ・色やコントラストに注意すれば、生徒の視線の動線を黒板にだけ絞ることができる。
- ・便利なアプリだが、1ライセンスにつき毎月600円を払う必要がある。